

# クロウ沢

大竹 幹衛

- 山行年月日:2023年7月16日
- メンバー:大竹幹衛、斎藤美和子、  
大竹尚子
- コースタイム:BC 出発 6:15~Co1110  
m分岐 10:30-11:00~コビキキノ滝  
13:15-13:55~BC14:15

佐藤敏二は休養日となった。6:15 ベースを出発する。10 分程で深く大きな釜を持つ 2m 滝がある。右岸をへつって行くが滝の手前でスタンスが無くなり、仕方なく戻る。左岸から高巻きとなる。急登すると台地となり踏み跡がある。大きく巻いて沢に下ると大きな流木がある。帰りの目印になるでしょう。ここから先は右岸、左岸へと渡渉を繰り返して進み易い方向を進む。深いトロがあり右岸から小さく巻き、対岸に渡り 1 本立てる。前の 3m の岩場を登ると奥に深い釜のある 4m の滝が見える。このまま左岸を巻いて行くと大変なので、懸垂下降で沢に下り対岸に渡れば右岸の岩場を登れそう。うまく登れて、すぐに 3m3 条

の滝、右岸からスラブ状に登る。この上でミズナを収穫、帰りに回収するためにデボする。この先も 2m、3m の釜のある滝が 4 個ほど出て来るが、全て左岸を巻いて乗越す。登りに虎ロープの Fix がある所があった。2 万 5 千地図のクロウ沢と書いてある所の右岸からの枝沢の出合い 10:30。ここから戻る。軽くランチタイム。下降は往路をほぼ忠実に戻る。3m3 条の滝で竿を出す。イワナ大小 2 匹を釣ったがスーパーの袋に穴があき、大きい方のイワナを途中で落としてしまった。

最初に高巻きした所で台地状の所を下へ下へと下って行くとシロウ沢に出てしまった。それでもベースキャンプは近いので問題なし。14:15 着。お疲れ様でした。



クロウ沢中流域の滝



帰りに見たコビキキノ滝